

「第4回貝殻利用と豊かな海づくり研修会」報告

平成23年6月3日にJF全漁連大会議室で開催された「第4回貝殻利用と豊かな海づくり研修会」では、JF全国漁青連の須川副会長、九州大学応用力学研究所の柳所長、(財)漁港漁場漁村技術研究所の伊藤部長の3名の方に講師をお願いし、価値高く充実した研修会となりました。ここでは、須川副会長による講義内容を簡単にご紹介いたします。

『漁業者による豊かな海づくり実践活動について』

JF全国漁青連 副会長(兼)大分県漁業協同組合青年部 部長 須川 直樹 氏

藻場を守り育てることが重要

- ・「獲りつくさない漁業を！」と考えながら漁を行っている
- ・産卵時期を禁漁にする取り組みを実施
- ・しかし、漁獲量は下がってきている
- ・小魚の産卵場となる藻場の減少が一因と考えている
- ・藻場を守り育てることは漁業者個人でもできることがある
- ・現在は、青年部活動としてクロメの増殖に取り組んでいる



▲須川副会長による講演

各地でJFシェルナースの報告会を実施

本年度も西日本を中心に、漁業関係者を対象にJFシェルナースに関する取組についての報告会を実施しております。9月末までに14県で合計830名の漁業関係者にご参加いただきました。



長崎県
(平成23年4月27日)



福岡県
(平成23年5月17日)



大分県
(平成23年7月9日)



愛媛県
(平成23年7月11日)



鹿児島県
(平成23年8月19日)



熊本県
(平成23年9月5日)